Ｎｏ．３１【２０１２年１１月２日配信】

記念碑「明治天皇　臨御之校」を探して（担当：葛西）

山では、初雪の便りが届き、猛暑だった頃が、うそのようです。

以前（7 月 13 日配信）、この歴史トリビアで、県外の方からの問合せの内容についてお話しまして、今回はその続きです。

問合せの内容は、その方が、ある図書館で『青森市史』第 1 巻教育編（昭和 29 年 10 月青森市発行）を閲覧され、口絵写真の記念碑「明治天皇　臨御（りんぎょ）之校」が現在、どこにあるかを教えて欲しいとのことでした。

初め、「臨御」とは、聞きなれない言葉でしたので、まず国語辞典で調べると「天皇がお出ましになること」とありました。

頭の中で、小、中学校の「参観日」のイメージが浮かびました。

『新青森市史』別編第 1 巻教育（平成 10 年青森市発行）によると「青森町に最初に開校された『青森小学』は、明治 6 年（1873）7 月 28 日、寺町（現 本町）の正覚寺を仮校舎に当て開校したが、明治 7 年 5 月に現在の青森地方裁判所（現 長島 1 丁目）付近に新校舎が落成され、今日の『長島小学校』の前身である。」とあります。

また、「明治 9 年 7 月 15 日、明治天皇東北巡幸（じゅんこう）（天皇が視察されること）に当たって『青森小学』で天覧授業（てんらんじゅぎょう）（天皇が参観になること）が行われた。」とありました。

明治天皇お出迎えの光景
（『目で見る青森の歴史』より）

そして、天覧授業では、「体操」や「世界地図の問答授業」を参観されたとの記述もあり、当時の情景を想像すると実際にその記念碑を見たくなり、「長島小学校」を訪ねました。

記念碑「明治天皇　臨（りんぎょ） 御之校」（表面）

記念碑「明治天皇　臨（りんぎょ） 御之校」（裏面）

記念碑は、長島小学校の正面玄関に向かって左側にあり、「明治天皇　臨御之校　本校出身陸軍中将正四位勲二等功五級　両角　三郎　謹書」、裏面には「明治 9 年 7 月 15 日　本校青森小学校時代　昭和 17 年 7 月 28 日　本校創立 70 年記念　建立」と刻まれてありました。

この記念碑は、青森町で初めて開校された「青森小学」を、明治天皇が明治 9 年に視察され、それを記念して昭和 17 年に建立されたのですね。

長島小学校の卒業生に名誉市民　棟方志功氏がいらっしゃいます。

長島小学校の正面玄関に向かって右側には、「汝我志磨（なが しま）」（なんじ われ こころざし みがく）という志功氏の揮毫（きごう）による創学百年記念の石碑があります。

そして、明日、11 月 3 日（土）「文化の日」は、「棟方志功記念館」の無料開館日です。

「文化の日」といえば、もうひとつ。

以前は、「明治節（めいじせつ）」という「明治天皇の誕生日」の祝祭日でした。現在は、「自由と平和を愛し、文化をすすめる」国民の祝日です。

みなさま、よい週末を！！